

## 8 週あたり授業時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	選択	道徳	学活	総合	計
1年	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	0	1	1	1.4	29
2年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	0	1	1	2	29
3年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	0	1	1	2	29

## 9 日課時刻表

	月	～	金
職員打合せ	8:05	～	8:15
朝読書	8:15	～	8:25
学級活動	8:25	～	8:35
1校時	8:40	～	9:30
2校時	9:40	～	10:30
3校時	10:40	～	11:30
4校時	11:40	～	12:30
給食	12:30	～	13:00
昼休み	13:00	～	13:25
5校時	13:25	～	14:15
6校時	14:25	～	15:15
清掃	15:20	～	15:35
学級活動	15:40	～	15:55
下校	6時バス下校(夏) 17:10(冬)		

## 11 教職員

職名	氏名	住所	教科
校長	中 千 博	身延町遅沢	
教頭	近 藤 修 一	身延町波木井	
教諭	深 沢 良 人	身延町三沢	数学
教諭	内 田 浩	富士川町青柳町	保体
教諭	小 林 さゆり	市川三郷町市川大門	英語
教諭	渡 邊 かおる	身延町清子	国語
教諭	深 澤 美 紀	富士川町青柳町	数学
教諭	望 月 大	南部町福士	社会
教諭	小 池 あゆみ	南部町福士	音楽
教諭	望 月 聡	身延町西島	理科
養護教諭	保 坂 明 美	富士川町天神中条	保健教育
栄養教諭	橘 田 洋 子	甲府市下曾根894	食教育
事務主査	野 矢 潤	身延町	
敬禮	佐 野 美 和	身延町大野	
講師	川 口 ほゆり	身延町粟倉	英語
講師	小 野 真 代	早川町	美術
講師	米 山 沙 智	市川三郷町上野	家庭
講師	尾 崎 義 雄	富士川町天神中条	技術
ALT	ジョナサン・チェン	身延町角打	
ALT	ダニエル・コリンズ	身延町角打	
事務	高 橋 洋 文	富士川町平林2495	
職員	望 月 和 美	身延町西島	
支援員	古 屋 真 澄	身延町下山	

## 10 校内研究

### ☆研究主題

「わかる授業・生き生きとした生活の創造」  
～心の教育をベースとした  
「確かな学力」を身につけた生徒の育成～

### ☆研究目標

- (1)授業での指導法の改善を図り、基礎基本を定着させる。
- (2)家庭学習に自ら取り組み、自学自習する態度を身につけさせる。

### ☆研究内容

- ・生徒一人ひとりを大切にした教科指導、基礎基本を定着させることをめざし、教科の特性や生徒の実態を分析し、指導法を工夫し、実践する。
- ・家庭学習を定着させるための指導法を工夫する。
- ・教師の授業力向上のための研修を行う。

回	月	内 容
1	4	研究テーマ、研究内容方向性の確認
2	5	研究の基本、研究計画の検討、公開の意義の確認、公開研究会の見通し
3	6	授業研究会・事例研究会
4	7	授業研究会
5	8	校内夏季研修
6		公開研究発表会の内容、日程、役割分担、授業者、授業内容等の決定
7	9	授業研究会、授業力養成講座
8	10	授業研究会、公開研究発表授業者最終検討
9		公開研究発表会の準備
10	11	第41回自主公開研究発表会
11		公開のまとめと反省
12	1	研究のまとめ
13	2	来年度の研究に向けて

## 12 PTA役員

会 長	深 沢 宏 之
副会長	望 月 出
	成 澤 かおり
幹 事	中 千 博
	近 藤 修 一
監 事	佐 藤 成 人
	樋 川 巧

## 13 体育文化育成会役員

会 長	望 月 出
副会長	深 沢 宏 之
	成 澤 かおり
	中 千 博

平成24年度

# 学校要覧



## 身延町立中富中学校

山梨県南巨摩郡身延町寺沢 3250 番地

Tel:0556-42-2023 Fax: 0556-42-2261

mail:ecole-21@nakatomi-chu.ed.jp



中富中学校校歌

一 ゆかりも深き城山の  
菅沼城のあところ  
おお ここに  
温故知新の風冴えて  
文化のとりでそびえ建つ

二 眉を上げれば富士嶺に  
湧く青雲が夢を呼ぶ  
おお ここに  
自主協働の旗かざし  
若き英知をみがくのだ

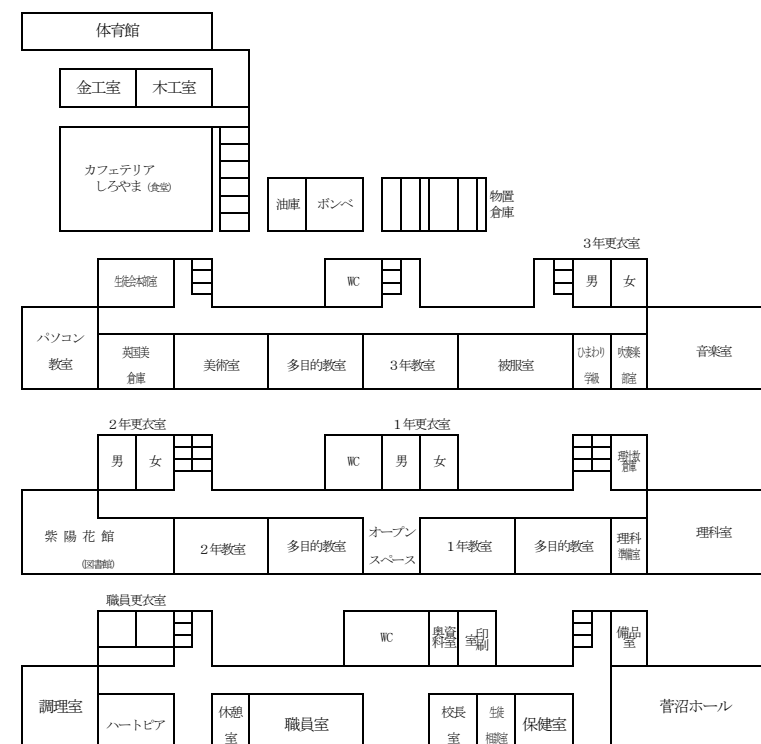
三 芙蓉の流れ眼の下に  
うねりすがしく開けゆく  
おお ここに  
愛と真理のあすの世を  
きすく中富中学校

作 詞 秋山晴時  
作 曲 坂口五郎

## 1 校地、校舎

面 積	校舎 面積	
敷地面積 20,424 m <sup>2</sup>	敷地面積 20,424 m <sup>2</sup>	普通教室 6 特別支援教室 1 特別教室 14 ・和室・生徒相談室・保健室・美術室・図書室・理科室・生徒会室・パソコン室 ・被服室・音楽室・木工室・金工室・多目的ホール・オープンスペース その他 ・ガスボンベ室・高圧電気室・高架水槽・スクールバス車庫・焼窯
建物敷地 3,055 m <sup>2</sup>	本館 2,960 m <sup>2</sup>	
運動場 7,274 m <sup>2</sup>	金・木工室 280 m <sup>2</sup>	
その他 10,095 m <sup>2</sup>	体育館 760 m <sup>2</sup>	
	食堂 350 m <sup>2</sup>	
	給食センター 240 m <sup>2</sup>	

## 2 環 境



本校は、昭和47年4月1日、旧中富町の統合中学校として創設された。創立1年目は、曙中学校と甲南中学校が、翌48年には原中学校が統合し、この2年間は教場制による経営がなされていた。

昭和49年4月この城山の地に統合校舎が竣工し、実質的な中富中学校教育が行われるようになった。

中富中学校校歌1番に「ゆかりも深き城山の 菅沼城のあところ おお ここに 温故知新の風冴えて文化のとりでそびえ建つ」と歌われている城山とは菅沼城のあった山ということである。

この城山に建つ本校は、北から南に流れる日本三大急流の一つである富士川と、その流れに沿って延びる国道52号線を眼下に、西の巨摩山地最南端に位置する富士見山に抱かれている。また、北には「中富和紙の里」が、南には「身延山久遠寺」が、東には「下部温泉郷」や「本栖湖」があり、観光名所になっている。

昭和47年に教育目標・校是が制定され、公開研究会がこの年から始まり今日に及んでいる。

平成16年9月には、旧中富・下部・身延の三町が合併し、校名が「中富町立中富中学校」から「身延町立中富中学校」となった。

